

# 社会福祉 しずおか

2016

1  
No.782

## 特集

地域包括ケアシステムに係る  
社会福祉協議会について語る

編集発行



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号

電話.054-254-5248 FAX.054-251-7508

<http://www.shizuoka-wel.jp>

E-mail [spcsw@shizuoka-wel.jp](mailto:spcsw@shizuoka-wel.jp)



# 地域包括ケアシステムに係る 社会福祉協議会について語る

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、本会事業の推進に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、平成28年(2016年)は、これからの地域福祉推進の中核的な施策となる生活困窮者自立支援制度、改正介護保険制度及び子ども子育て支援制度が平成27年4月に本格施行されてから2年目を迎え、社会福祉協議会にとっても、さらなる活動の充実が期待されます。

平成28年新春号は、新年にあたり静岡県社会福祉協議会の神原啓文会長、静岡市社会福祉協議会の山本伸晴会長並びに浜松市社会福祉協議会の山口智之会長から、現在の地域福祉をめぐる動向を踏まえながら、地域包括ケアシステムに係る社会福祉協議会の役割について語っていただきました。(司会:事務局次長 柿澤 彰)

(注)社会福祉協議会:以下「社協」といいます。

## 高齢者が活躍できる社会

**司会** 近年の社会経済環境の変

化に伴い、介護保険制度をはじめ公的なサービスだけでは対応できない生活支援ニーズや社会的孤立、貧困を背景とする深刻な生活課題が顕在化しています。また、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が求められています。はじ

めに神原会長からは、医療分野の立場から、この背景等についてお聞きしたいと思います。

**神原** 平成26年6月に成立した

「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」には二つの柱があり、その柱の一つが「地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保」です。これは、医療機関が都道府県知事に病床の医療機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)等を報告し、都道



静岡県社会福祉協議会

会長 かん ぼら ひろ ふみ 神原 啓文氏

- ・静岡県立総合病院院長(H15.4~H25.3)
- ・地方独立行政法人静岡県立病院機構理事長兼静岡県立総合病院長(H21.4~H25.3)
- ・地方独立行政法人静岡県立病院機構理事長(H25.4~H26.3)
- ・社会福祉法人静岡県社会福祉協議会会長(H26.4~現在)



浜松市社会福祉協議会

やまぐち ともゆき

会長 山口 智之 氏

- ・大脇産婦人科医院院長 (S.53.5～現在)
- ・医療法人社団泰誠会理事長 (H.26.4～現在)
- ・浜松市医師会会長 (H.18.4～H.25.6)
- ・浜松市社会福祉協議会会長 (H.27.7～現在)

府県は、その報告をもとに地域医療構想(地域の医療提供体制の将来のあるべき姿)を医療計画として策定することです。この背景には、医療費及び介護費が高齢化の進捗と共に増加の一途を辿る一方、人口減少により支え手の負担が高まる中、今後、社会保障制度を維持していくためには、現行制度の見直しが避けられなくなってきたことに依ります。医療界では、地域医療構想は喫緊の大きな課題です。高度急性期から在宅医療まで、患者さんの状態に応じた適切な医療

を、地域において効果的かつ効率的に提供する体制を整備することが必要です。さらに、社会に復帰した患者さんは出来るだけ、地域で継続して生活を送れるようにする、つまり、地域の受け皿づくりがもう一つの大きな柱で、それが「地域包括ケアシステムの構築」であると言えます。

**司会** それでは、山本会長からは、福祉分野の立場からお聞きしたいと思います。

**山本** 国の統計によると、日本の65歳以上の人口は、2015年9月15日時点で3,384万人となり、総人口比は26.7%で過去最高を更新しています。これは、1947～1949年に生まれた「団塊の世代(3年間の合計出生数は約806万人)」が65歳に達したためであり、言わば避けることのできない社会現象とも言えます。同様の事態が10年後に起こることを想定したのが「2025年問題」です。2025年に後期高齢者(75歳以上)の数が最高になると、同時に要介護認定者も爆発的に増える可能性があるのです。そのような中で、地域包括ケアシステムの構築を柱とする介護保険制度の大きな改正が行われました。これは、在宅医療・介護連携の推進とともに、単身世帯等が増加し、支援を必要とする軽度の高齢者が増加する中、見守り・配食等の生活支援サービスの充実を図っていく、同時に高齢者の社会参加をより一

層推進することを通じて、元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍することを期待しています。高齢者が社会的役割を持つことは、生きがいや介護予防にもつながるものです。

**山口** 私は、第3次安倍内閣が掲げたスローガン「二億総活躍社会」の考え自体は共感しています。「定年を迎えたら、年金や預金で楽しく暮らせばいい」という時代ではなく、なりました。これまで培ってきた知識や経験をもって、様々な活動に取り組んでいただき、同時に、若い力(世代)も巻き込んでいってほしいと思います。一方で、障がい者の社会参加を含め、参加意欲が湧くような取組工夫も必要かと思えます。

**神原** 健康寿命日本一の静岡県では、健康寿命が男性71.68年、女性75.32年であることを踏まえ、現役で活躍する高齢者の方々に応援する、静岡県独自のふじのくに



静岡市社会福祉協議会

会長 山本 伸晴 氏

- ・地域福祉研究所主宰(現在)
- ・静岡市健康福祉審議会会長(現在)
- ・元常葉学園短期大学学長
- ・静岡市社会福祉協議会会長(H.27.7~現在)

んです。県社協においては、県と一緒  
に「居場所づくり」を強力に推進  
していますが、単なる居場所でお  
茶を飲むだけでなく、もっとアク  
ティブな居場所づくり、高齢者の  
「出番づくり」を進めていく必要が  
あると思います。健康づくりにもつ  
ながりますしね。

築にあたっては、認知症施策の推進  
が大きな課題です。2015年1  
月の厚生労働省の発表によると、  
2012年の認知症高齢者(65歳  
以上)は約462万人(7人に1  
人)であり、2025年には最大で  
約730万人(5人に1人)に増  
えると推計しています。

型「人生区分」を提示しています。

46歳から76歳は「経験を積み、様々  
なことに熟達し、社会で元気に活  
躍する世代(働き盛り)」で「壮年」  
と呼んでいます。確かに、平成25年  
に内閣府が実施した「高齢者の地  
域社会への参加に関する意識調  
査」によると、70歳代では約7割の  
方が「社会活動に参加したい」と  
思っています。

**山本** 先日、テレビで放映されてい  
たのですが、国家戦略特区に指定  
されている兵庫県養父市は、シル

バー人材センターが派遣する高齢

者の労働時間を週40時間まで延

長する特例を活用し、マーケット等  
で働いています。実際、働いている姿  
を拝見すると、皆さん、活き活きと  
しています。仕事をしながら少し  
でも収入があるというのは、生活の  
張りにもなります。もっと柔軟に、  
高齢者と呼ばれる人材を有効活  
用していく必要があります。また、  
これからの時代、改めて農業を考  
え直す必要があると思います。障  
がいのある人を含め、重要な働き  
場所になると思います。

**神原** 静岡県は、農業が非常に盛

**山口** 同感です。ヒントは農業だ  
と思います。単発・過性の社会参  
加に係るメニューをたくさん行うよ  
り、時間はかかるかもしれませんが  
が、芽が出て、収穫ができて、いろい  
ろな意味で喜び、命の尊さを実感  
できる、家庭菜園からもう少し一歩  
進んだ組織的な仕組みを、高齢者  
のみならず、障がい者の就労機会  
の拡大も含めて、考えていく必要が  
ありますね。

**神原** これまでの主な認知症施策  
は、①早期受診・対応の遅れによる  
認知症状の悪化、②認知症の人が  
住み慣れた地域で可能な限り住み  
続けていくための介護サービスが  
量、質の両面で不足、③地域で認知  
症の人とその家族を支援する体制  
の不足、④医療・介護の現場におけ  
る連携のとれていないケースがある  
など様々な指摘がされています。  
厚生労働省では、これらの課題にお  
いて、「認知症の人は、精神科病院  
や施設を利用せざるを得ない」とい  
う考え方を改め、「認知症になっ  
ても本人の意思が尊重され、でき  
る限り住み慣れた地域のよい環境で

## 認知症高齢者等にやさしい地域づくり

**司会** 地域包括ケアシステムの構

暮らし続けることができる社会」の実現を目指し、認知症専門医による指導の下に早期診断、早期対応に向けて、「認知症初期集中支援チーム」と「認知症地域支援推進員」の配置を地域包括支援センターに整備する外、認知症の人の家族に対する支援をはじめ、社会全体で認知症の人々を支える仕組みを構築していくこととしています。

**山口** 確かに認知症の方を介護する家族が燃え尽きて、ダウンしてしまう不幸な例がありますね。最近ではテレビでも、認知症予防や認知症の人への対応方法などを多く取り上げています。とりわけ、認知症施策の推進において、認知症の人の介護者への支援は重要です。

**山本** 認知症への理解を深めるための普及啓発は、ある程度進んできたと思いますが、認知症の人を支える家族は、「あまり人に知られ

たくない」といった意識が、まだまだ、あるのではないでしょうか。高齢者の約4人に1人が認知症の人又はその予備群といわれる中で、決して特別な問題ではないという理解を深めていく必要があります。そのため、小さな時から学校等で認知症の人を含む高齢者への理解を深めるような教育を進めていくべきです。

**神原** 同時に、早期診断・早期対応のための体制整備と医介連携が必要です。認知症高齢者等にやさしい地域の実現には、行政だけでなく、関係機関・団体、そして地域住民自らが、主体的にそれぞれの役割を果たし、社会全体で取り組んでいくことが求められます。

### 社協の姿を地域に見せていくことが大事

**山本** 私は、ある市の地域福祉(活動)計画の策定に、長く関わって

いて、更新のたびに「社協の認知度」について住民に聞くのですが、どうしても上がらないのです。地域ニーズに基づいた、地道な活動に取り組んでいるのですが、未だに自治体の組織だと思っっている方がたくさんいます。社協の認知度の向上が、今、一番気

**神原** 残念ながら医療者は、社協のことをあまり知らな

いとと思います。医療者のみならず国民は、必要性が出てくるまで関心を持ちません。あまりに忙しく様々な情報が入ってくる社会ですから、社協に関心を持ってもらうような取組と共に、関心を向けな

くても情報が入ってくるような仕掛けが必要です。社協は、社会福祉に関する情報はたくさん持っているけれど、その出し方が上手でないような気がしますね。





援を調整する役割を、社協が率先して担っていく必要があると思います。

**司会** 最後に、新しい年を迎え、県民の皆さまをはじめ社会福祉関係者に向けて、神原会長からメッセージをお願いいたします。

**神原** 様々な福祉課題が山積する今という時をチャンスとして捉え、本年も、県下の社会福祉協議会が一丸となって、深刻な生活課題や社会的孤立などの新たな地域福祉の課題に向き合い、福祉の問題は社協に相談すれば、相談や支援・解決に繋がる糸口をもらえると県民・市民に感じてもらえるような情報提供、また、だれもが安心して暮らすことができる地域に根差した福祉のまちづくりに邁進してまいります。

皆様には、本年も引き続き、本県社会福祉の発展のため、ご支援とご協力をお願いいたします。

と思うのです。これまでは、困ったら自分や家族、或いは地域の互助で何とか解決してきましたが、核家族化の進行、一人暮らし世帯の増加、地域のつながりが希薄化している中では、それも難しくなっています。地域包括支援センターをはじめ、様々な相談機関は整備されてきました。住民の多くは専門機関へ相談に行かず、抱え込んでしまっているケースも散見されています。社協は、住民が気軽に相談できる場所として、総合的な相談支援体制の強化を図っていく必要があります。住民の暮らしは制度に縛られているわけではありません。行政の相談機関は、制度の枠の中でしか対応できないかもしれませんが、制度の枠の外にこそ、社協だからできることがあります。また、制度がないから漏れる問題、問題を制度ごと縦割りに、バラバラに対応しているから漏れる問題に対して、横断的で総合的な支

構築において、在宅医療・介護連携の推進が重要であることは、今更申し上げるまでもありませんが、実際、現場では「福祉領域」との連携は、まだまだ、これからという感じがします。とりわけ、専門職連携において、社協職員は積極的に地域に出向いて、コミュニティソーシャルワーカーとしての姿を、もっと見せていくことが大切です。

**山本** 欧米諸国と日本を比較すると、日本国民は、困った時に専門機関へ相談するという歴史が浅い

**山本** 同感です。「社協だより」も、最近各市役所の広報と一緒に配られるのですが、各戸配布すると、全員が読んでくれると思います。読んでいただく内容も掲載していくことはもちろんですが、その配布にあたって、例えばスーパーマーケット、銀行、コンビニに置いてもらうなど、様々な工夫が必要です。私は、今、地域のコミュニティセンターは、コンビニだと思っています。広報だけでなく、様々な協力ができると思います。

**山口** 今、地域包括ケアシステムの

**YAMAHA**  
感動を・ともに・創る

**音楽を灯そう。**

明かりとともに、音楽がとけこみ心地よさを  
毎日の暮らしのなかへ。  
ライティングオーディオ「レリット」です。

ヤマハ ライティングオーディオシステム  
**Relit** Light & Music  
Blending into One

ヤマハ株式会社

**読者の皆様のご意見をお待ちしております**

①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④職業⑤本紙に対するご意見、感想をご記入の上、下記までお送りください。(ハガキ、FAX、メールいずれでも結構です)ご意見等は本紙で掲載させていただくことがあります。

■宛先 〒420-8670 静岡県葵区駿府町1-70  
静岡県社会福祉協議会 地域福祉課「社会福祉しずおか」係  
FAX:054-251-7508 E-mail:spcsw@shizuoka-wel.jp

記入いただきました個人情報は、本会「個人情報の保護に関する方針(プライバシーポリシー)」に基づき、本紙作成に係る目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。本会プライバシーポリシーはホームページ(<http://www.shizuoka-wel.jp/>)に掲載しております。

**二酸化塩素の空間除菌剤** 開封後 約60日間持続

ウイルハント  
**Will Hunt 60**

ウイルス除去 除菌 消臭

「ウイルハント60」1箱30セット入  
施設限定特別価格 詰め替え用も  
29,400円 → **20,400円!!**

★障害のある方達が荷造り発送作業を  
請け負っていますので、工賃向上のため  
御協力くださいますようお願い申し上げ  
ます★

**Will Bash** ウイルバッシュ・スプレー  
空間のウイルス除去・除菌・消臭に

二酸化塩素で **固めて安心**  
**嘔吐物処理キット**  
嘔吐物の緊急処理に  
もご用意しております!

お問い合わせは・・・  
一般社団法人 静岡県社会就労センター  
TEL:054-273-9111 FAX:054-273-9112

<p><b>カーテン・リース&amp;クリーニング</b></p> <p>特許取得の出張クリーニング車にて施設に訪問、取外し、クリーニングから取付けまで全ておまかせの予備不要短時間低料金システムでお喜び頂いています。ほずれ程度の補修から欠落部品の補充サービスまで実施します。</p> <p>メンテナンス付リースでカーテンはいつもきれいです</p>	<p><b>カーペットタイル・リース&amp;丸洗い洗浄</b></p> <p>全園初、カーペットタイル丸洗いシステム。◆汚れ頻度の高い店舗、ゴルフ場 ◆衛生面で除菌消臭に気配りが必要なホテル、保育室 ◆短時間乾燥では休館日が無く人の往来が激しい老人ホームなど多様な施設でお役に立ちます。</p> <p>洗浄前 洗浄後</p>	
<p>販売から後々のメンテナンスまで・・・ <b>株式会社ミナワ</b> 静岡市葵区産女1060番地の1 ☎054-295-9002 Fax054-295-9003</p>		
<p>独自洗浄方式開発によりメンテナンス対応が拡がりました。洗浄から乾燥迄、短時間でを行い、リースも可能に。ブラインドもOK</p>	<p>当社独自の舞台幕メンテナンスです大変お喜び頂いています。ご注文の時期が集中します。御早めに予約願います。</p>	<p>カーテンレールは勿論の事、ロールスクリーン・シェード・ブラインドに至るまで修理修繕対応します。</p>
<p>ロールスクリーンクリーニング</p>	<p>学校の舞台幕(緞帳)</p>	<p>修理・修繕</p>